

跡見学園女子大学 学報



キャンパスに戻ってきた学生



オンライン形式で開催



紫祭オンライン開催(かるた部)



紫祭オンライン開催(競技ダンス部)

新型コロナウイルスの感染が始まってから2年が経ちました。昨年度当初は、学生はキャンパス入構禁止、授業はすべて遠隔、入学式等の行事も中止といった厳しい状況でした。今年度は、社会全体のコロナ対応を踏まえ、授業は対面と遠隔の併用、対面の際は分散登校という形をとり、学生たちはキャンパスに集うことができるようになりました。徐々にではありますが、本来の大学の姿を取り戻しつつあります。

未だ制約の多い学修環境ではありますが、その中でも学生たちは授業・ゼミや課外活動に積極的に取り組んできました。本号では、そうした学生たちの意欲的な活動を紹介します。ゼミでは、オンラインで、あるいは学外に出向いて、他大学の学生や企業の方々と交流し、多くの貴重な経験を重ねています。今年は紫祭もオンラインで実施することができました。

コロナ禍はなかなか終息の兆しが見えませんが、これからも感染防止対策に取り組みつつ、授業や学生生活支援の充実に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解、ご支援をお願いする次第です。

記事内容

○コロナ禍における学生・ゼミの活動	2
○学生会館(仮称)の建築について	3
○河津桜移動について	3
○跡見さくら咲く募金について	3
○国際交流活動の紹介	4
○朗読コンテスト	4
○地域交流活動の紹介	5
○2021年度学内講演会開催報告	6
○2021年度各種研究助成報告	7
○学生会情報	8
○第54回紫祭活動報告	8
○CLUB NOW	9
○図書館トピックス	9
○観光経営人材育成講座	9
○Open Campusのご案内	9
○就職課Information	10
○2021年度新任教員	11
○保護者説明会実施報告	11
○後援会大学幹事会実施報告	11
○ポータル保証人ID発行について	11
○2022年度花躰記念資料館展示スケジュール	12
○2022年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定	12
○春の行事予定	12
○履修申請	12

コロナ禍における学生・ゼミの活動

昨年度に引き続き、令和3年度もコロナ禍により大学の授業は大きな制約を受けました。しかし、困難な条件のもとでも学生・ゼミは活発に活動を行いました。今回は、その様子をお知らせいたします。

穂苅ゼミ

文学部 コミュニケーション文化学科 講師 穂苅 友洋

文学部コミュニケーション文化学科4年生幸島樹さん、竹田実夢さんが、第21回日本第二言語習得学会国際年次大会(The 21st International Conference of the Japan Second Language Association : J-SLA2021)で、卒業論文で各自が取り組んでいる研究を発表しました。

学会は10月23日(土)・24日(日)に事前に提出した発表動画の視聴とZoomでの質疑応答を組み合わせ実施されました。学生は事前に厳正な査読を受け、初日の「学生ワークショップ」で国内外の修士・博士課程学生に交じり、研究発表を行いました。

どちらの研究もこれまでに十分に組み込まれてこなかった問題を扱った内容であり、発表を聞いてくださった研究者のみならずから高い評価をいただきました。他方で、データの分析や解釈について今後の課題も見つかるなど、多くの収穫がありました。なにより、学会発表という学部学生にとっては高いハードルを乗り越えたことで、大きな自信を得られたことが最大の収穫でした。



中西ゼミ

マネジメント学部 マネジメント学科 准教授 中西 哲

マネジメント学科・中西哲ゼミ3年生(企業戦略/17名)は、日本大学でオンライン開催された第67回日本学生経済ゼミナール全国大会(インター大会)に出場しました。インター大会は全国の経済学部・経営学部のゼミナールが日ごろの研究成果を競い合う日本最古の学術研究大会です。予選会において専門分野ごとの分科会に分れて研究発表を行い各分科会の最優秀賞受賞チームが決勝に進出します。中西哲ゼミからは2021年10月24日に開催された予選会に5チームにわかれて出場し、中でも経営部門に出場したチームと国際経済部門に出場したチームはテーマ設定の新規性・独自性、先行研究の適切なレビュー、分析視角の妥当性、プレゼンテーション能力などの審査項目で、滋賀大学、関西大学、龍谷大学、名城大学、専修大学、兵庫県立大学など多数のゼミを圧倒し、最優秀賞を受賞しました。12月12日に開催された決勝大会では惜しくも入賞を逃しましたがインター大会での決勝進出は本学初の快挙となります。



小関ゼミ

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 講師 小関 孝子

観光コミュニティ学部観光デザイン学科小関ゼミの2年生14名(基礎ゼミナール)、3年生15名(観光演習I A)は、6月27日、「ヒルトン東京お台場」にご協力いただき、新入社員向けの研修を体験しました。この研修は株式会社ポイントコミュニケーションズが本学向けにコーディネートしており、ヒルトン東京お台場との調整を行い実現された企画です。

施設見学では客室、宴会場、チャペル、レストランを視察し、コロナ禍のなかでお客様と従業員の安全に細心の注意を払っている現場の緊張感を知りました。講義形式の研修では、人事部門の支配人、料飲部門の支配人、宿泊部門の支配人による各部門の紹介があり、ホテルで働くために必要な心構えを学ぶことができました。料飲部門、宿泊部門の紹介では、入社1年目の女性社員の声を聴くことができ、その堂々としたたずまいに大いに刺激を受けました。



研修中の本学学生の様子

心理学部臨床心理学科「心理実習B」

心理学部 臨床心理学科 准教授 小栗 貴弘

11月27日、心理実習B成果発表会が開催されました。心理実習Bでは、将来、公認心理師を目指している学生が学校現場で実習を行います。今年は約30名が、新座市、和光市、戸田市の小中学校で10日間の実習を行いました。

座学での理論学習ももちろん大切ですが、臨床心理学は実践学なので、現場での学びが非常に大切になってきます。学生たちは大学の講義や演習で知識・技術を身に付け、現場での実習に生かします。そして、実習で得られた経験や問題意識を、その後の大学での学びへとつなげていきます。

発表会では、それぞれが自身の10日間の実習で得られた経験について発表し、他の学生はそれを真剣に聞いていました。たくさんの刺激を受けて、将来、公認心理師になりたいという思いがより強くなったようでした。



心理実習B成果発表会の様子

新座キャンパスに学生会館（仮称）を建築

本学では「跡見学園創立150周年記念事業」の一環として、中期計画目標の「新座キャンパスリフレッシュ化計画」および「安心・安全な環境の整備」に基づき、新座キャンパスに学生会館（仮称）を建築します。これは、従来からあるクラブハウスと合宿舎を集約し、また学生会本部や多目的スペースなどを設け、多様な学生が利用できる施設とします。

建築場所は新座キャンパス体育館の隣とし、工期は2021年11月着工、2022年6月供用開始の予定です。建物は、学生のキャンパスライフ、課外活動等の拠点に相応しい施設として、全体的に明るく開放感のある施設とします。主な部屋・スペースは以下の通りですが、情報環境を整備し、またバリアフリーや荷物の搬出入を考慮しエレベータも設置します。

◎主な施設

- 1階**：エントランスホール、多目的スペース、談話スペース、学生会本部室、紫祭実行委員会室、合宿スペース（キッチン、洗濯室、トイレ付）、宿泊室（付添者用）、ミーティングルーム、多目的室、シャワー室
- 2階**：部室（全24室）、音楽スタジオ



（完成イメージ）

学生会館（仮称）新築工事に伴う河津桜3本の移動について

学生会館（仮称）新築工事に伴い、建築予定地に植えてある河津桜3本を移植しました。

1本をグラウンドに移植し、2本をグラウンドに仮移植し、学生会館付近に復旧する予定としています。なお、河津桜は本学名誉教授内藤歡修氏より寄贈されたものです。

跡見さくら咲く募金について

明治8（1875）年、学祖跡見花蹊先生は、新時代に後れをとらぬ女子の教育の実現を掲げて跡見学校を開学されました。以来、跡見学園はその理念を貫き、時代に合わせて形を変えながら歴史を重ね、令和7（2025）年に創立150周年を迎えます。

これを記念しまして、本学では、①キャンパスのリフレッシュ化計画の推進、学生会館（仮称）の建築（女子大学新座キャンパス）②中学校高等学校のフレキシブルスペース構想の推進（カフェ・面談・自習等のスペース）③ICT環境の更なる充実を図るため、オンライン授業の環境整備、AV設備の改修など、整備・充実を継続的に実施することを計画しております。

この跡見学園創立150周年記念事業を推進するため、「跡見さくら咲く募金」を創設しました。お振込みの他、学園ホームページ上ではクレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済をご利用いただけます。

卒業生、在学生・在校生御父母、教職員、事業法人及び一般有志の皆様方からの深いご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

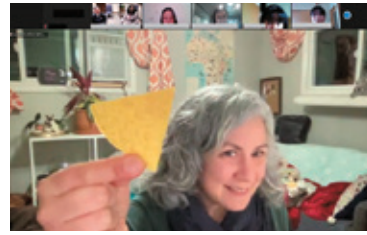


お問い合わせ先：跡見学園募金事務局 TEL03-3941-4100 Eメール bokin@atomi.ac.jp

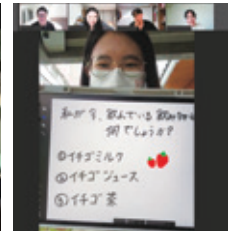
国際交流活動の紹介

2021年度もコロナ禍により、オンラインを中心とした語学プログラムや国際交流イベントを実施しました。

国内に居ながらも語学学習へのモチベーションを維持し、積極的にこのようなイベントに参加する学生が多くみられました。今後、新型コロナウイルスの海外における感染状況に留意しつつ、学生の安全確保を最大限配慮した上で、海外派遣の再開を検討していきます。



アメリカ・ローワーコロンビアカレッジ
とのカンパセーションカフェ



韓国・東義大学校との
学生交流会

▶ 跡見英会話サロンリニューアル

誰でも気軽に英会話を楽しめる場所として、多くの学生に人気の「跡見英会話サロン」。2021年度秋学期には学生の皆さんから要望が多かった「TOEIC®対策」や「見学制度」を設けてリニューアルオープンしました。

NEW TOEIC® 対策

TOEIC®でよく出る単語・フレーズをつかって例文を作ったり、先生の話した文章を聞いて書き取るなどの試験対策を取り入れました。

NEW 初参加でも安心! 名札導入

「一人で参加するのは不安」「参加する前に見学してみたい」という意見を参考に、「見学」や「初心者」「10分間のみ参加」等のネームプレートを用意しました。

韓国語サロンを開設

2021年度の秋学期より、跡見学園女子大学初となるオンライン韓国語サロンを開設しました。

1コマ25分間で「より自然な会話のイントネーション」などのテーマに沿って、韓国人講師と実践練習を行います。英会話サロン同様、全学生対象で、この半年間で延べ137名の学生が利用しました。

今後も学生の皆さんのニーズにお応えし、内容の充実を図ります。



各サロンの詳細や、その他国際交流に関する情報は、ポータルまたはTeamsの「国際交流 Information」にて随時配信しています。



令和3年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」について

令和3年度の文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」が、令和3年11月14日(日)(13時~16時30分)、跡見学園女子大学プロッサムホールで開催されました。

このコンテストは、文京区に縁のあった文化人を顕彰する事業のひとつで、文京区と連携をして朗読者に発表の場を提供するとともに、区民の文化活動の一層の促進、特に青少年部門においては朗読への関心を醸成することを目的として、文京区が主催し、本学が主管して平成24年度から開催されています。

今年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、十分な感染対策を講じた上で開催されました。開会にあたり、成澤廣修文京区長よりご挨拶をいただきました。

今年のテーマは「森鷗外の交友圏」。森鷗外と親交のあった作家6人の文学作品が課題とされました。

応募総数253人(一般170名、青少年83名)のうち、NHK放送研修センター日本語センターの録音審査で選ばれた青少年の部6人、一般の部10人が本選会に出場しました。

広瀬修子氏(元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー)、伊藤文樹氏(NHK放送研修センター日本語センター専門委員)、上野義博氏(文京区教育委員会指導主事)の3氏の厳正なる審査の結果、最優秀賞2名(一般の部、青少年の部、各1名)と優秀賞4名(一般の部、青少年の部、各2名)が受賞されました。今年は初めて本学学生が青少年の部の最優秀賞に選ばれました。



地域交流活動の紹介

シンポジウム

「コロナ禍における大学の地域交流活動の展開可能性」 を開催しました

地域交流センターでは、文京区社会福祉協議会の後援、拓殖大学、東洋大学、文京学院大学の協力のもと、2021年12月25日にシンポジウム「コロナ禍における大学の地域交流活動の展開可能性」を開催しました。

コロナ禍は、地域交流活動にも大きな影響を及ぼしました。それは文京区内の各大学とそれぞれの学生たちの活動も同様です。しかし、コロナ禍という状況のなかでも、各大学は地域交流活動を継続し、学生たちはそれぞれに工夫をしながら地域交流活動を展開してきました。本シンポジウムは、それぞれの大学や学生たちが直面した課題、課題に対しどのような創意工夫を行ってきたのかを共有することで、大学の行う地域交流活動の意義について、コロナ禍で改めて見つめ直す機会となることをめざし開催しました。

シンポジウムに先立ち、跡見学園女子大学、拓殖大学、中央大学、東洋大学、文京学院大学から16のパネル報告出展によるパネル展示会を実施しました。展示会場は、出展者同士の情報交換、出展者から一般の観覧者への展示説明が行われ交流の場となりました。

シンポジウムの第1部報告では、文京学院大学の古市太郎氏（まちづくり研究センター長）、東洋大学の日比野勲氏（ボランティア支援室 ボランティアコーディネーター）、跡見学園女子大学の土居洋平氏（地域交流センター長）が登壇し、それぞれの大学におけるコロナ禍の地域交流活動の取り組みが報告されました。

第2部報告では、跡見学園女子大学、拓殖大学、中央大学、東洋大学、文京学院大学において地域交流活動を行っている学生・学生団体により15の報告が行われました。ここでは、文京区のコミュニティバス「B-ぐる」の車内で放映される映像の制作プロジェクトがコロナ禍でどのように行われてきたのかという報告、ふじみ野市と文京区に活動拠点を持つ学生たちがそれぞれの地域ごとの課題やその課題に対する具体的な対応について報告がなされました。その他にも、茗荷谷地域の食品ロスを減らそうというエシカル消費をテーマとした活動、地域のなかに多世代の人々がくつろげるサード・プレイスをつくろうというプロジェクトである「氷川下つゆくさ荘」の活動など、近年、社会的にも注目されている地域課題と向き合う取り組みも報告されました。さらには、コロナ禍でつながりをいかに維持することが可能なのかと挑戦してきた活動、コロナ禍をくぐり抜けてどのような「再開」が計画されているのか、今よりもっとボランティアが応援される社会がどうやったら実現するのかというパースペクティブを持った取り組みも報告されました。

（地域交流センター・新垣 夢乃）





2021年度 学内講演会 開催報告



全学共通科目運営センター

- 2021年度全学共通科目運営センター主催FD研修会
 - 日時：2021年9月1日(水) 14:40～16:10
 - 方法：オンライン開催
 - テーマ：「大学教養教育の在り方：全学共通科目オンライン授業の現状と課題」
 - プログラム：1.開催の挨拶 全学共通科目運営センター長 吉澤京子教授
 - 2.全体会
 - (1) 外国語以外の教養教育—共通専門・総合・社会人形成・情報処理等—の現状と課題
報告者：村上理講師(マネジメント学科)
 - (2) 外国語科目の現状と課題
報告者：阿部一哉准教授(人文学科)
 - 3.分科会
 - (1) 外国語以外の教養教育—共通専門・総合・社会人形成・情報処理等—
 - (2) 外国語科目
 - 4.全体会
 - (1) 教養科目 分科会報告：長谷川幸代講師(人文学科)
 - (2) 外国語科目 分科会報告：峰松和子准教授(人文学科)
 - (3) 全体シェアリング
- 参加者数：当日参加者 80名
動画視聴者 14名 計94名

文学部

- 文学部FDワークショップ
 - (1)
 - 主催：文学部教育・研究支援委員会
 - 日時：2021年7月14日の教授会終了後の開始で90分程度
 - 場所：オンライン開催
 - 題名：「オンライン授業の現状と今後」
 - 発表者：①クリストファー プルスマス准教授(人文学科)・水谷幸恵講師(人文学科)
 - ②中西太郎准教授(コミュニケーション文化学科)
 - ③加藤大鶴教授(人文学科)
 - (2)
 - 主催：文学部教育・研究支援委員会
 - 日時：2021年11月10日(水) 13:00～14:00
 - 場所：オンライン開催 出席者：30名
 - 題名：「いま改めて研究倫理とは」
 - 発表者：森まり子教授(人文学科)、要真理子教授(現代文化表現学科)

マネジメント学部

- マネジメント学部主催 第1回FDワークショップ
 - 日時：2021年6月23日(水) 13:00～14:30
 - 場所：オンライン開催 参加者：24名
 - テーマ：対面とオンラインのハイブリッド授業の工夫(新ポータル活用の活用を含む)
 - 発表者：中西哲准教授(マネジメント学科)
 - 深町浩祥准教授(生活環境マネジメント学科)
 - 横堀広彦講師(マネジメント学科)
 - 対象者：マネジメント学部専任教員及び兼任教員
- マネジメント学部主催 第2回FDワークショップ
 - 日時：2021年10月20日(水) 10:40～12:10
 - 場所：オンライン開催 参加者：24名
 - テーマ：教育研究での倫理的配慮はどうすればよいか?：学部教員の現状理解と今後の方針に関する認識の共有
 - 発表者：石塚正敏教授(生活環境マネジメント学科)
 - 禿あや美教授(マネジメント学科)
 - 赤松瑞枝准教授(生活環境マネジメント学科)
 - 山澤成康教授(マネジメント学科)
 - 対象者：マネジメント学部専任教員及び兼任教員
- マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会
 - 日時：①2021年11月9日(火) 16:40～18:10
 - ②2021年11月12日(金) 16:40～18:10
 - 場所：①②新座キャンパス 実践ゼミナール実施教室(teams)
 - 講師：①②太田彩子さん 一般社団法人 営業部女子課の会 代表理事 株式会社バレーフェクト 代表取締役
 - テーマ：①②「ワクワクキャリアのつくり方～私らしく働くために～」
 - 参加者：①133名 ②195名

心理学部

- 2021年度 心理学部FDワークショップ
 - 日時：2021年6月23日(水) 13:00～14:30
 - 場所：新座キャンパス2283講義室・オンライン(ハイフレックス形式)
 - テーマ：「ハイフレックス授業の工夫」
 - プログラム：1.開会あいさつ 心理学部教育・研究支援委員長 酒井佳永教授
 - 2.話題提供
松崎くみ子教授、宮崎圭子教授、前場康介准教授、板東充彦准教授
 - 3.全体議論・質疑応答
- 2021年度 心理学部 研究倫理に関するFDワークショップ
 - 日時：2021年10月13日(水) 13:15～14:30
 - 場所：オンライン開催 参加者：心理学部教員 10名
 - テーマ：「心理学部紀要の査読をめぐって」
 - プログラム(座談会形式)：
 - 1.話題提供
心理学部教育・研究支援委員長 酒井佳永教授
「心理学部紀要の査読をめぐって」
 - 2.全体議論・質疑応答

大学院人文学研究科

- 日本文化研究フォーラム
 - 日時：2021年11月17日(水) 13:30～14:30
 - 場所：オンライン開催 出席者(報告者を含む)：15名
 - 司会：泉雅博教授(日本文化専攻)
 - 題名：修士論文の研究指導について
 - 発表者：矢島新教授(日本文化専攻)、酒井佳永教授(臨床心理学専攻)

その他講演会

<学生サポートセンター主催>

- 2021年度教職員のためのカウンセリング研修会
 - 日時：2021年12月8日(水) 13:00～14:30
 - 方法：オンライン開催 参加者：120名
 - 演題：『女性の発達障害について』
 - 講師：本学心理学部臨床心理学科 宮岡 佳子教授
 - 概要：女性の発達障害をテーマに、カウンセリング研修会を開催しました。内容としては、合理的配慮の詳細、発達障害の種類、女性の発達障害の特徴、対応が難しい発達障害の学生に対する具体的な対応方法など、非常に分かりやすくご紹介いただきました。なお、今回の研修会では、学生サポートセンター長による学生サポートセンターの相談体制についての説明をあわせて行うことにより、理解を深める一助となりました。参加者からは「具体的な対応方法まで踏み込んだお話を、大変参考になった。」「発達障害について、非常にわかりやすく解説していただき、今後の学生支援に生かしていきたいと思う。」との感想がありました。

<ハラスメント防止対策委員会主催>

- 講演会
 - 日時：2021年11月22日(月) 13:30～15:10
 - 方法：オンラインおよび文京会場：M2301、新座会場：1308
 - 対象：跡見学園女子大学職員及び執行部など管理職、法人職員
 - 講師：成蹊大学教授 原 昌登 氏
 - 演題：「ハラスメント問題の基礎を学ぶ」
 - 内容：(1) パワハラなど職場で起こりうるハラスメントについての基礎知識を得る
(2) ハラスメントに対する法律上の責任や典型的な事例について理解を深める
(3) ハラスメントのない職場をつくらせていくためのポイントをともに考える
 - 参加者：72名(リアルタイム参加者のみの人数)
 - 概要：2020年よりパワハラ防止対策が法的に強化されたことをきっかけに、職員からのパワハラに関する相談が増えています。そこで、職場のハラスメント問題に焦点を当てた学習を深めるために、今年は初の試みとして教員と職員で分け開催することにしました。教員向けの講演会では、学生と教員間、教職員間のコミュニケーション問題に焦点を当て、今後開催する予定です。原先生はハラスメントの類型を示されたうえで、被害者にはどのような権利が守られているのか、そして加害者のみならず法人が法的にどのような責任を果たす必要があるのか解説くださいました。参加者アンケートによると非常にわかりやすいと好評で、また参加対象者を絞っての開催についても賛意が示されました。

2021年度

各種研究助成報告

2021年度 海外・国内留学助成

種別	所属	氏名	職位	留学する大学等	留学期間
国内 長期	文学部	笹島 雅彦	教授	東京大学大学院法学政治学研究所	2021.4.1~2022.3.31
海外 長期	マネジメント学部	鷹 咲子	教授	東義大学校 (大韓民国)	2021.4.1~2022.3.31

2021年度 特別研究助成

単位：円

所属	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	加藤 大鶴	教授	『和漢朗詠集』鎌倉期写本の漢語声点についての基礎的研究	414,000
文学部	水谷 長志	教授	跡見花蹊アーカイブにおけるMLA*連携を内包するシステム構築のための予備的研究(i) - MA連携から見る花蹊日記における花蹊ユニーク語彙の出現にかかわる実事例検証の試み *MLA: Museum, Library, Archive	750,000
文学部	安本 真弓	教授	中国語可能表現の指導要領に関する実証的調査	895,000
文学部	中西 太郎	准教授	埼玉県中西部地域における方言データベースの構築	697,000
文学部	穂苅 友洋	講師	母語、第二言語、第三言語間での交差言語的影響の研究：韓国語母語話者による日英語受動文に対する容認性判断調査から	508,000
観光コミュニティ学部	河村 英和	准教授	1950-70年代モダニズム様式による国内ホテル建築盛衰史の構築	1,246,000

2021年度 学術図書出版助成

単位：円

所属	氏名	職位	出版物タイトル	助成費
マネジメント学部	禿 あや美	教授	雇用形態格差の制度分析—分業と秩序の構築・維持・変容	1,000,000

2021年度 科学研究費助成事業

単位：円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題名	2021直接経費*
文学部	加藤 大鶴	教授	基盤研究(C)	資料横断的な漢字音・漢語音データベース構築・公開に向けた基礎的研究	350,000円
文学部	要 真理子	教授	基盤研究(C)	ウィングダム・ルイスのメディア論—アートとイデオロギーの交錯	300,000円
文学部	柴田 眞美	教授	基盤研究(C)	日本画と臨床美術を融合した創作実践—心理学的質的分析と構造化による開発—	研究期間延長
文学部	茂木 一司	教授	基盤研究(B)	視覚障害及び同重複障害児者が主体的に学ぶインクルーシブ・メディアアート教材開発	1,800,000円
文学部	茂木 一司	教授	基盤研究(B)	インクルーシブアート教育論及び視覚障害等のためのメディア教材・カリキュラムの開発	1,050,000円
文学部	森谷 裕美子	教授	基盤研究(C)	先住民の出稼ぎ労働をめぐる国際移動・国内移動	500,000円
文学部	安本 真弓	教授	基盤研究(C)	現代中国語における可能表現の学習効果—導入及び習得データに基づく実証分析	研究期間再延長
文学部	中西 太郎	准教授	基盤研究(C)	日台あいさつ表現変化モデル構築に関する研究	900,000円
文学部	真辺 美佐	准教授	基盤研究(C)	板垣退助の政党論と政党指導	700,000円
文学部	吉田 さち	准教授	基盤研究(C)	在日コリアンおよび在韓コリアンにおける言語接触・方言接触に関する社会言語学的研究	400,000円
文学部	中山 慎太郎	講師	若手研究	20世紀におけるフランス詩と音楽	1,200,000円
マネジメント学部	山澤 成康	教授	基盤研究(C)	統計改革を反映したGDP予測—ビッグデータを利用したナウキャストニング	500,000円
マネジメント学部	郷 香野子	講師	研究成果公開促進費(学術図書)	事例ベース意思決定(CBDT)によるマーケティング	1,000,000円
マネジメント学部	郷 香野子	講師	若手研究	事例ベース意思決定理論(CBDT)のマーケティングへの適用	研究期間延長
マネジメント学部	横堀 応彦	講師	若手研究	舞台芸術の創作プロセスとドラマトゥルギーに関する研究：ドイツ語圏スイスに注目して	600,000円
マネジメント学部	横堀 応彦	講師	研究活動スタート支援	現代ドイツにおける劇場環境の変化とドラマトゥルギーの相関性の解明	700,000円
観光コミュニティ学部	河村 英和	准教授	基盤研究(C)	19世紀スイス・シャレー建築の理想イメージの変遷と国内外受容文化史の構築	研究期間延長
心理学部	酒井 佳永	教授	基盤研究(C)	ICTを活用した精神障害者の家族心理教育プログラムの開発と有用性の検討	980,000円
心理学部	酒井 佳永	教授	基盤研究(C)	軽躁チェックリスト他者評価版を用いた効果的な双極性障害のスクリーニング法の開発	研究期間再延長
心理学部	前場 康介	准教授	若手研究	大学生の進路選択セルフ・エフィカシー情報源尺度の作成と新たな介入プログラムの開発	研究期間延長

2021年度 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費

単位：円

所属	氏名	職位	事業名	研究課題名	2021直接経費*
心理学部	鈴木 眞理	特任教授	障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)	摂食障害を抱える家族のピアサポート研修プログラムの開発	2,200,000

* 2021年度に配分された、研究代表者の直接経費(研究分担者への配分額は含まない)。

学生会情報

学生会本部 副会長 渡辺 綾乃

ごきげんよう。春寒ようやくぬるみ始めたこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

学生会本部では、12月1日に【資生堂ビューティー講座】フレッシュコースをオンラインにて開催いたしました。講座では、スキンケアやメイクアップの手順を、一部教材の化粧品などを使用しながらご教示いただきました。また表情、所作など第一印象をアップするためのポイントを学ぶことができました。コロナ禍では、マスクの着用が当たり前となり、目元でしか表情を読み取り合うことができません。そのため、今回の学びを活かし、相手に与える印象を意識しながら行動することと共に、より良いコミュニケーションをとることができるよう心掛けたいです。参加された跡見生の皆さんからも非常に好評でした。来年度のイベントも是非ご期待ください。

一方で、残念ながら昨年に引き続き、学生会本部主催のイベントであるクリスマスパーティーや、洋食・和食テーブルマナー講習会が中止となってしまいました。来年度開催ができましたら、皆様のご参加をお待ちしております。

感染症拡大の影響から、学生会本部も対面で活動することが少なく、不安な面が多くありましたが、役員全員

で支え合いながら活動に励むことができました。先輩方が引退されると、学生会本部は新体制での活動が始まります。これからは、先輩方が築き上げてこられた学生会を受け継ぎつつ、跡見学園女子大学がさらに発展できるように活動して参ります。

4月には新入生を迎えます。現在、学生会本部では新入生へ配布する冊子を作成しております。冊子には学校のクラブ・愛好会の説明などを掲載する予定です。

私たち学生会本部は、跡見生がより充実した大学生活を送ることができるよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



学生会本部主催 オンラインセミナー
【資生堂ビューティー講座】
フレッシュコース

新年明けは、この時期に開催する講座が、今年度も最新のトレンドの最新情報をお伝えいたします。
そこで、皆さんに最新のトレンドをお伝えする「オンラインセミナー」を開催いたします！
スキンケア、メイクアップ、髪型、メイクなど、最新のトレンドをお伝えする最新のイベントと
最新の化粧品などをお取り、お楽しみいただけます。

日程：令和3年12月1日(日)
※15時30分～16時30分
※16時30分～17時30分
(※お申し込み内容となっております。)

参加費：無料
参加人数：1～4名 ※定員 60名

※ 参加費は、12月1日(日)の開催日にオンライン上でお支払いとなります。
※ 申し込み、お申し込みの受付は、お申し込みの受付期間内となります。
※ 申し込みの受付は、お申し込みの受付期間内となります。
※ 申し込みの受付は、お申し込みの受付期間内となります。

申し込み： stunet@yahoocool.jp
お申し込み： <https://e-mailer.link/100169934851> or

第54回 紫祭活動報告

第54回 紫祭実行委員会 委員長 櫻井 柚香

今年度で第54回目を迎える紫祭は、10月30日(土)、31日(日)に開催いたしました。昨年度はコロナウイルス感染拡大のため、残念ながら中止となりましたが、今年度は気持ちを新たに「花車～新しい紫祭へ～」というテーマを掲げ、初のオンライン形式で開催することといたしました。

今年度は従来とは異なり、ゼミ・サークル・部活動など参加団体による発表や展示、紫祭実行委員会の企画など、様々なコンテンツを紫祭のウェブサイトにて公開いたしました。開会式・閉会式やダンス部A☆figの公演は生配信も行い、2日間の学園祭を無事に終えることができました。

対面で開催していた時には来場者の反応を直に感じることができましたが、今回はオンライン開催ということで、顔が見えないため反応が分かりにくいことがオンライン開催の難しさでもありました。しかし、閲覧数や企画の投票数、SNS上での反応を見ますと、多くの方々楽しんでいただけたようで大変嬉しく思います。

参加団体の中でも生ライブ配信を行ったダンス部A☆figのパフォーマンスは、メンバー全員がキラキラしていて、チームワークの良さを感じとることができる素敵な時間となりました。また、タレントのトークショーや芸人によるお笑いライブを目玉企画として配信を行いました。視聴された方々からの反響も大きく、紫祭をさらに盛り上げてくれたことを実感しました。

今年の紫祭実行委員会は、例年とは開催方法が全く異なるため、ゼロからの出発で始まり、挑戦と苦戦の連続でした。紫祭を多くの人に知っていただくこと、さまざまな参加団体のコンテンツを発信するために、新しく紫祭のウエ

ブページの作成も進めていきました。どの程度オンライン配信を見てもらえるのか予想もつかず、SNSを中心に情報発信を継続して行くことを心がけていました。また、公開前の準備では、紫祭にふさわしい内容になっているか、動画のチェック作業を入念に行うなど、いろいろと工夫をしながら活動を行いました。

笠原学長をはじめ教職員の皆さま、一紫会の皆さま、地域の皆さま、協賛企業の皆さま、参加団体の皆さま、視聴していただいた皆さまのおかげで、今年度の紫祭を成功のうちに終了することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

来年は紫祭第55回目を迎えます。今までの伝統を継承しながら、さらにより良い紫祭を開催できるよう、実行委員会一同、協力しながら活動していきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



CLUB Now

跡見ウィンドオーケストラ部

部長 島田 柚紀

こんにちは!跡見ウィンドオーケストラ部です。

私たちは毎週火曜日と本番近くの土曜日に活動しています。少人数ながらも毎週楽しく活動しており、学年問わずアットホームな雰囲気です。いつでも新入部員を募集していますので、経験者の方はもちろん、初心者の方もぜひ見学に来ていただきたいです。私たちと一緒に楽しい大学生活を過ごしてみませんか?

主な本番は秋の紫祭と春の定期演奏会です。今年の紫祭はオンライン開催のため、外部コーチのご指導のもと、初めて演奏動画の撮影に挑戦しました。当日は多くの方に見ていただくことができました。ありがとうございます!また、3月16日には、所沢市民文化センターミュージズ小ホールにて、2年ぶりに定期演奏会を開催いたします。現在、一人一人が企画に携わりながら楽しく準備を進めています。

部員一同お待ちしておりますので、ぜひお越しいただければ幸いです。

また、Twitterにて質問の募集や情報の更新を行っています。よろしければ、そちらもご覧ください。



「観光経営人材育成講座」を開講しました

跡見学園女子大学では、一般社会人を対象とした「観光経営人材育成講座」を開講しました。この講座は、東京都の「大学等と連携した観光経営人材育成事業」によるもので、観光産業の人材育成を目指すものです。

本学講座のテーマは、「コロナ禍での観光の未来を考える：インバウンドのセカンドステージでの課題と人材育成～ジェンダー、異文化理解、ハラスメント対応」というものです。観光業界は、コロナ感染の拡大により深刻な状況が続いています。しかし、アフターコロナを見据えて、インバウンドのセカンドステージへの準備も進められています。そこにおいては、ジェンダー、異文化理解、ハラスメント対応といった新しい課題が問題となっており、本講座はこれらの課題の解決に寄与する人材の育成を目指して行われました。

3年間にわたる本事業の初年度である2021年度は以下の通り実施しました。

- ・開催期間 2021年12月11日(土)～
2022年3月8日(火) 全10回
- ・開催形態 本年度はオンライン開催
- ・定員 50名(観光関連事業に従事している方(予定者も含む)を対象)
- ・講師 本学教員および他大学研究者、官公庁・企業で観光関連事業に携わる方

本学ではこの講座開講を契機に、観光業界・企業との連携を深め、新しい観光教育の未来を開きたいと考えております。

図書館トピックス

●就職に役立つデータベース入門講習会開催

図書館では、就職課協力のもとで、就職活動に有効なデータベースの利用方法について、講師をお招きして、11月17日(水)にWeb(zoom)にて開催いたしました。

●選書ツアーの実施

選書ツアーとは学生が図書館で購入してほしい本を直接選ぶことができるイベントで、12月15日(水)、三省堂書店神保町本店で開催いたしました。書店のご厚意で書店業務の流れの説明を受けた後、参加学生は各フロアで思い思いに選書しました。



Open Campus のご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。

Open Campus Schedule

3/24(木) 【新座キャンパス】	5/22(日) 【新座キャンパス】	6/26(日) 【文京キャンパス】	7/24(日) 【新座キャンパス】
8/7(日) 【文京キャンパス】	8/20(土) 【文京キャンパス】	9/25(日) 【文京キャンパス】	

新型コロナウイルス感染防止対策を行っています!

- * 実施予定内容
大学説明/入試説明/入試対策講座/体験授業/教員・学生との個別相談/キャンパスツアー 等
その他、入試セミナー等実施します。詳細は本学HPにてご確認ください。
- * 個別相談・学校見学も随時受付中です。
- * 入試問い合わせ先：048-478-3338

学生のみなさんへ

2022年度オープンキャンパススタッフを募集します!
詳細は5月頃にポータルにてお知らせします。

就職課 Information ～就職部 就職課～

コロナ禍で迎えた2年目の夏、前年度に中止となったATOMIインターンシップを含めた就職課主催のプログラムを、今年度は多くの企業の協力のもとに実施することができ、参加学生は社会人になるための一歩を踏み出しました。

「ATOMIインターンシップ」を実施しました

就職課主催のATOMIインターンシップは、就業体験を通して、学生が自己の責任において納得のできる就職をするための職業観を養い、「働き方を含めた今後の生き方」を考えることを目的としています。昨年度は新型コロナウイルスの影響でやむを得ず中止となりましたが、平成10(1998)年度から開始し、今年度で24年目を迎えました。本学では2学部において2年次に単位制のインターンシップを行っています。ATOMIインターンシップは全学部全学科全学年を対象としています。近年、1・2年生の申込者が増加し、低学年からのインターンシップが定着してきている傾向にあります。今年度はコロナ禍での急な変更・中止などもありましたが、最終的に企業23社のご協力のもと、84名の学生が実習に参加しました。

ATOMIインターンシップは夏休みの実習期間だけでなく、参加者の選考を行う6月から10月の最終報告会までの約5カ月間にわたる長期プログラムです。参加する学生は、事前研修で参加目的を明確にし、社会人として必要なマナーを学びます。事後研修ではグループワークを通して実習の振り返りを行い、他の参加者と意見交換をすることで新たな気づきを得て、自己の成長に繋げていきます。

今年度は一部の実習を除いて、研修は全てオンラインで行いましたが、参加した学生の満足度は高く、「一般的なことを普段からできる人が社会人だと気づかせてくれる研修だった」「知らなかった業界や企業を知るきっかけになった」「あまり積極的に行動していなかった自分の背中を押してくれた」など、前向きな感想が聞かれました。

実習先では、企業の担当者からの指導や他大学の学生との交流の中で様々な刺激を受け、今後の学習意欲も向上したようです。この経験が、社会で自分らしく、幸せな人生を送るための第一歩となるよう願っています。

3年生対象「PBLプログラム(課題解決型プログラム)」を実施しました

令和3(2021)年8～9月にかけて、就職課では「PBLプログラム(課題解決型プログラム)」を実施しました。本プログラムは提携先企業に業務上の課題を提示いただき、その課題に対して学生チームが解決策を提案するという実践的なプログラムで、今回で5回目となります。提携先企業のトランコム株式会社(東証一部・名証一部)は、物流センター構築運営サービス、輸送マッチング・配送サービスなどを事業として行う企業で、本学卒業生も4名在籍しています。昨年度同様、今年度も「Microsoft Teams」を活用し、全日程をオンラインで実施しました。今回は「事業内容を効率化するための新しい取り組みを考えてみよう」というテーマが提示され、4グループ、20名の学生が課題解決に挑みました。

参加学生は最初に、コロナ禍で重要性を増している物流業界や同社の独特なビジネスモデルなど、課題の背景に関する理解を深めました。その後、提示された課題に対して、問題点の洗い出し、仮説の設定、解決策の提案という流れで、考え方のフレームワークを活用してチームの意見をまとめました。

プログラム最終日には企業の執行役員及び担当者への最終プレゼンテーションを行いました。参加した学生からは、「夏のインターンシップでは複数日で課題に取り組むといった経験がなかったので、今回は大変貴重な機会になった」「話し合いを進めていくうちに、グループでは自分はこのように振舞えばよい、このメンバーにはこのように話しかけると発言してくれる、というようなこともわかり、グループで取り組むうえでの自分の立ち回り方について学ぶことができた」という感想が挙がりました。正解のない答えを導くことは社会に出てから必ず役に立ちます。今後も就職課では、学生の進路選択を幅広くサポートしてまいります。

1・2年生対象および3年生対象の「社会人インタビュー」を実施しました

本プログラムは、毎年8月～9月にかけて1・2年生を対象に行ってきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、インターンシップに参加する機会の少なかった3年生を対象にしたプログラムも実施しました。

1・2年生のインタビュー先企業4社(専門商社、建設、物流、情報通信(IT)業界)、3年生のインタビュー先企業4社(卸売、医療、物流、情報通信(IT)業界)あわせて企業8社にご協力いただき、1・2年生9名、3年生17名の計26名の学生が参加しました。オリエンテーションから事後研修までの全4回の集合研修では、業界・企業研究やインタビュー項目についてグループワークや発表を行いました。初めはオンラインでの研修に戸惑う学生も多く見られましたが、グループワークを通じて環境にも慣れ、各企業へのインタビュー当日は、緊張しながらも事前準備をした質問項目について、学生自ら積極的に企業の担当者に質問することができました。

参加した学生からは「実際に企業の方とお話できてとても良い経験となった」「ホームページなどで情報収集をただ闇雲にするのではなく、何について知りたいのか、自分の大切にしたいこと、軸を持って調べることの大切さを学ぶことができた」「今後は失敗を恐れず積極的に挑戦したい」といった声が聞かれました。

実際に社会で働いている方のお話を伺ったことで、ホームページや資料調査による事前の企業研究・業界研究だけでは気づけなかったことや新たな視点等、学生は働き方を具体的にイメージすることができました。また、「情報を自ら取りに行く」ことの大切さも実感でき、今後の就職活動に大変有効なプログラムであったと思います。今後もより多くの学生に参加してもらえよう、プログラムの充実を図ってまいります。

2021年度新任教員

新任の教員の方をご紹介します。(敬称略) 質問: ① 専攻 ② 趣味 ③ 抱負
(2021年10月1日着任)



中山慎太郎

文学部人文学科 講師

- ① フランス文学(主に近現代詩)、フランス語教育
- ② ワイン、チーズ、料理
- ③ 学生の皆さんがより豊かな人生を送れるよう、フランス語の学習を通して、フランス語圏の文化を学び、接することが出来るような授業を心がけています。



渡部 英美

文学部コミュニケーション文化学科 教授

- ① 専門分野 アナウンス、インタビュー、ナレーション
- ② マイキャンピングカーで全国のキャンプ場と温泉巡り
- ③ NHKのアナウンサー・ディレクターとして培ったジャーナリズムと取材・構成・表現力を学生の皆さんに伝えられたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

保護者説明会を実施しました(Web開催)

今年度の「保護者説明会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、Webにて実施いたしました。実施方法は、まず全体説明としての動画をご視聴いただき、続いてご質問やご相談を各担当部署にて受け付ける、という方式といたしました。

動画の内容は、まず学長と各学部長(4学部:文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、心理学部)よりご挨拶させていただきました。続いて学生生活については、教務部長(成績・履修関係)、学生サポートセンター長(学生生活関係)、国際交流課(国際交流、留学等)よりご説明申し上げます。また保護者の皆様の関心が最も高い就職・進路支援につきましては、就職部長よりパワーポイントを用いて詳しくご説明申し上げます。

動画の配信期間は10月9日から10月31日、質問やご相談等の受付期間は10月9日から11月6日でした。多くの保護者の皆様にご視聴いただきありがとうございました。

セキュリティの関係から動画にパスワードをかけたため、保護者の皆様には動画を視聴するのにひと手間かかることになり、ご面倒をおかけしたことをお詫び申し上げます。

次年度以降は、この経験を活かし、よりスムーズな実施を目指していきます。

跡見学園後援会大学幹事会を実施しました

令和3年11月13日(土)に、令和3年度第43回跡見学園後援会大学幹事会を、新座キャンパス花蹊メモリアルホールで対面実施いたしました。当日は、新座キャンパス内の木々が色付く秋晴れの中、40名程の後援会大学幹事の方々にご出席を頂きました。

幹事会では、笠原清志学長による大学の基本方針と本年度の大学の状況報告、曾田修司副学長による後援会からの補助金に関する報告、櫻川幸恵就職部長による就職状況報告の後、活発な質疑応答が行われました。幹事会終了後は、希望者によるキャンパスツアーを実施し、図書館、花蹊記念資料館等の施設をご覧いただきました。初めて新座キャンパスを訪れる方も大勢おり、キャンパスツアーは大変好評をいただきました。

ポータルシステムの保証人ID発行について

学内の情報共有基盤であるポータルシステムは、これまで在学生と教職員が利用していましたが、この度、ここに保証人の方のIDを追加し、初期パスワードとともにすべての保証人の方に郵送でお知らせいたしました。

これまでは保証人の方への成績通知は郵送により行っておりましたが、2021年度秋学期からはポータル上から確認していただくことが可能となりますので、郵送でのお知らせは廃止いたします。(ただし成績確定前などに非公開とする期間があります。)

また、成績以外にも、大学からのお知らせ、学生時間割表、シラバスなどをポータル上で保証人の方にご確認いただくことが可能です。

なお、現在は保証人の方にスマホ用サイトを利用いただくことはできませんが、来年度以降はスマホ用サイトの利用も可能となる見込みです。



2022年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2022		
3月 9日(水)～ 5月28日(土)	「跡見花蹊の系脈展 — 独創と継承—」	
6月 15日(水)～ 7月28日(木)	「墨が奏でる美の調べ」	「第14回 跡見OG書道展」
9月 24日(土)～ 12月10日(土)	「花々の煌めき」	
2023		
1月 24日(火)～ 2月 3日(金)	博物館実習生模擬展示	
3月 11日(土)～ 3月31日(金)	「写真が語る跡見の歴史」	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。詳しくはHPをご覧ください。

2022年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定

●学部 新1年生対象

4月2日(土)	一人暮らしのガイダンス・学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象)
3日(日)	入学式・新入生説明会・履修ガイダンス(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部) ＜マネジメント学部＞ 学科ガイダンス ＜観光コミュニティ学部＞ 学部・学科ガイダンス・グループミーティング
4日(月)	＜文学部・心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程ガイダンス(人文学科のみ)
5日(火)	＜文学部・心理学部＞ 個別面談 ＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・グループミーティング・個別面談・社会調査士課程ガイダンス
7日(木)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)・資格課程(司書)ガイダンス

●学部 新2年生対象

3月25日(金)	健康診断(文京キャンパス)(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
4月6日(水)	＜文学部・心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
7日(木)	＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新3年生対象

3月24日(木)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
28日(月)	＜文学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(火)	＜マネジメント学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
30日(水)	＜観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・社会調査士課程ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(木)	＜心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新4年生対象

3月23日(水)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
28日(月)	＜文学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(火)	＜マネジメント学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
30日(水)	＜観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(木)	＜心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●大学院生対象

3月25日(金)	＜マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)＞ 健康診断
4月3日(日)	＜両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)＞ 入学式・専攻説明会他 (午前:人文科学研究科、午後:マネジメント研究科)
6日(水)	＜人文科学研究科のみ(新座キャンパス)＞ 履修ガイダンス(2年生)・専攻ガイダンス(2年生)
7日(木)	＜人文科学研究科のみ(新座キャンパス)＞ 健康診断

◆ 春の行事予定 ◆

3月	18日(金)	第54回学部卒業式・第16回大学院修了式
4月	3日(日)	第58回入学式
	8日(金)	春学期通常授業開始

● 履修申請期間 ●

● Web履修登録申請期間

- 1次 <全学年> 4月5日(火)、6日(水)、7日(木)
2次 <全学年> 4月11日(月)、12日(火)

● 履修登録状況(抽選結果) 発表

4月11日(月)、15日(金)

● 履修登録訂正手続期間

4月15日(金)、16日(土)

この冊子は、適切に管理されたFSC® 認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC® 認証紙を使用しています。

